

2020年12月4日
FCA ジャパン株式会社

PRESS RELEASE

FCA ジャパン 2 か月連続で過去最高を更新

- FCA ジャパン取扱い 4 ブランドの 11 月合計台数は 2,195 台、対前年比 128%
- ジープ、フィアット、アバルト、アルファロメオの全ブランドで対前年プラス
- ジープも 2 ヶ月連続で過去最高更新

FCA ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ポントス・ヘグストロム）では、取扱いブランドであるジープ、フィアット、アバルト、アルファロメオの 11 月の合計販売台数が 2,195 台となり、10 月に続き、11 月としても過去最高販売台数を更新しました。FCA ジャパンの今年 1-11 月までの全ブランド累計販売台数は 21,441 台、対前年比 95% で、純輸入車市場が対前年比-15%にとどまるなか、いち早い回復を見せています。

ジープは、ラングラー、レネゲード、グランドチェロキーの販売が力強く、全体の好業績を牽引しました。この結果、ジープの 1-11 月の累計台数は 12,247 台、対前年比+26 台となりました。フィアットは Panda 4X4（パンダ・フォーバイフォー）並びに 500 / 500C（チンクエチエント/チンクエチエントシー）の限定車がいずれも好調、アバルトも販売好調を維持し、1-11 月の累計販売台数は対前年比 98%となりました。アルファロメオもジュリアとステルヴィオに今年新たに導入した新グレード、スプリントが好調でした。

ブランド	2020年11月 販売台数	対前年比
Jeep	1,272 台	128%
FIAT	495 台	136%
ABARTH	204 台	104%
Alfa Romeo	224 台	145%
4ブランド合計	2,195 台	128%

FCA ジャパン代表取締役社長兼 CEO のポントス・ヘグストロムは、11 月の好業績について次のようにコメントしています。

「おかげさまで、11 月は全 4 ブランドで前年を上回った結果、第 4 四半期の初めの 2 ヶ月を記録更新で飾ることができました。5 月から開始した「スキップローン」、11 月に導入した「ジープウェイブ」が販売を後押ししているうえ、FCA ジャパン初の電動化モデル、ジープレネゲード 4xe（フォーバイイー）の販売も開始されています。引き続き感染予防対策を万全にして対応いただいているディーラーへの来店客も堅調で、12 月にも期待しています。」



Jeep

